

# 株式会社 玉島活版所

## 『強い組織』とは、

個々の能力・スキルを最大限発揮でき、お互いの力をもち寄って最大の成果を生み出せるチームのことです。

そして、力を最大限発揮するためには、個々の存在を認め、尊重し、活かし合う「文化」が必要です。私たち自身が「文化」を体現するとともに、社会に愛される、選ばれる企業を私たちは増やし、その輪を広げていきます。

会社の場所・環境

最大限に強みや能力が発揮できる

## 『文化』

信頼し合える仲間と仕事を創り、成長をする。仲間へのリスペクトを持ち、立場に関わらず、意見が言いやすい文化をつくる。

会社からの姿勢

社会に必要とされ、選ばれるための

## 『変化』

これまでの経験を基に、ニーズに応えられる知識・技術をさらに伸ばし、「変化」することを恐れず、選ばれる会社になる。

VISION ビジョン | 目指すべき将来像・姿

社会から愛される、  
選ばれる企業をつくる。

MISSION ミッション | 社会のために私たちがすること（使命）

デザインの力で地域と未来を繋ぐ

VALUE バリュー | 私たちの価値観

つながり合う人を  
増やしていく

- ・企業のVision、個人のVisionの重なりが大きければ大きいほどより力は発揮できる。
- ・企業のMission、Visionに共感し、やりがい、働きがいを持つ人を増やす。
- ・強い共感力でつながった人で組成された組織を増やしていく。

環境づくりは  
自分から

- お客様、業者、仲間に気持ちのいい挨拶を自分からしよう。挨拶は、その人と交わす1日のはじまりの会話。自分から挨拶をすることで、気持ちよく仕事のスタートをきろう。
- ポジティブに言動・行動できる人が気持ちのよい職場をつくる。職場環境は自分から発せられる言葉、雰囲気大きく影響されることを意識しよう。不機嫌は「環境破壊」。自分の機嫌をコントロールできる人、ポジティブな言動がとれる人に信頼は集まってくる。
- 考える力をつけよう。「どうすればいいですか？」と聞くのは新人、「私はこうした方がいいと思いますが、どう思われますか？」と自分の考えを伝えよう。あなたの考える力が商品・サービスのクオリティにつながる。
- 分からない点、曖昧な点は放置せず、必ず確認する。「ん？」と思ったことは必ず事前に確認しよう。違和感があったことは大抵後でクオリティに直結する。事前確認が仕事の効率・クオリティを引き上げる。

ともに、育つ

- 目の前の小さな変化を喜ぼう、称え合おう。仕事は地道な作業の積み重ね。一つひとつの作業の積み重ねが「仕事」になり、変化が生まれる。目の前の小さな変化が成果につながる。まわりの小さな変化に気付き、喜び、称え合える人になろう。
- 傾聴力をつける。「天使の聞き方」を自分から。「天使の聞き方」とは、姿勢を正し、相手の目を見て、時には相槌をうち、相手の話を聞くこと。他者は自分と考えが違うことを受け入れる。「言うことを聞く」のではなく、「伝えたいことを聞く」。
- 怒りはどこからきているのかを見極める。怒りの矛先を間違えない。怒りは2次的感情である。1次的感情は、焦り、イラ立ち、悲しみ、苦しみ等である。怒りを相手にぶつけるのではなく、なぜ怒りを感じているのかその原因を特定し、根本の課題にアプローチしよう。

目指す  
プロフェッショナルを

- ビジネスの基本である報告、連絡、相談を必ず行うことで、行き違いを防ぐ。経験を重ねるほど、思い込みに気を付けよう。自分が部下に求めていることを、自分は同僚・上司やまわりの人に行っているだろうか？
- 上から目線で気持ちいいのは自分だけ。謙虚な心、リスペクトを忘れずに。過去の成功・栄光はすぐ手放そう。次の目的・目標があなたを新たなステージに引き上げる。
- プロの仕事は準備が9割。本番1割、準備9割。何事も準備が大切。目的・目標は明確になっているか？準備をするために必要な時間を確保しているか？相手に準備の時間を与えているか？
- 第三者視点を持つ。多角的な角度でものごとを観察しよう。私たちは「第三者視点」をもっているから選ばれている。そのことに自信と誇りを持つよう。
- 感謝される、期待されるクオリティを目指す。満足されるクオリティが基本にあり、さらに感謝される、期待されるクオリティを目指そう。それは「これでいいか」ではなく、「これがいい」の積み重ねである。

私たちが大切に  
する精神

マインド

MIND